

平成27年度3学期終業式式辞

平成28年3月23日

この1年間を振り返ってみると、君たちが成長したと思えることが数多くあります。色々なところで活躍してくれました。授業や学校行事の取組み、土曜学習会や補習などへの参加する姿勢も向上したと思います。部活動もきりっといい表情で、チームの雰囲気もよく活動している様子がうかがえました。そして結果もついてきています。中学生の後輩たち、地域の方々からの県宝への注目度や期待が大きくなっていることを私自身も感じています。

さらに皆さんにはもっと期待したいことがあります。自分でよく考えて、自分で判断して自分の意志で行動を取れるようになって欲しいということです。「人任せにしているところがありませんか？」と、2学期に言いました。もう一度皆さんに問いかけたいと思います。そのような思いも有り今年度は、皆さんの自主的な活動の機会や体験活動を増やしてきました。皆さんもそれにしっかり応えてくれました。

また、多くの卒業生からいろいろお話を聞く機会や講演会を増やしたことで、図書室・北の館を整備したり県宝100選を決めるなど読書活動の推進もそういう思いで行ってきました。いろいろな人の話を聞くことも、読書をする事も、他の人の人生を体験（疑似体験）する事ができる点で大切な機会です。皆さんはこのような色々な体験を通して、自分の生き方や進路について考えるための素、考える材料を増やしてください。

3月には、自転車で世界を回っている坂本さんの夢のあるワクワクするような、何か行動を起こしたくなるお話や金融関係にお勤めでグローバル化とコミュニケーションについてお話くださった青砥さんのお話がありました。金融という遠い世界のお話でしたが、実は私たちの身近な生活に関係しているということもわかりました。講演してくださった講師の方は、全くちがう分野・世界で生きておられ、全くキャラクターの違う方でした。皆さんにとっては、興味がわいたりそうでなかったお話もあったかもしれませんが、人間の生き方としてお二人に共通するところもあったのではないかと思います。全く別の人生を歩んでいる方の、自分の人生を生きている中から生まれた若い君たちへの強いメッセージの中に共通する何かを見つけ出そうとする事で、皆さんが自分の生き方について考える糧となり、さらに自分の魅力アップにつなげて欲しいと思います。

来年度ももっとボランティアやインターンシップなどの体験活動を増やしたいと思っていますし、2年生の諸君には進路実現に向けて少しでもよい活動ができたならと今先生方と一生懸命考えています。君たちが成長できる県宝、よりよい県宝になるようにみんなで一緒にがんばっていきたいと思います。4月のスタートまで2週間ほどですが、その間に皆さんが3年生、2年生として良いスタートが切れる準備、新入生を迎える心構えをしっかりとしておいてください。

以上で3学期の終業式の私の話しを終わります。